

公證人法案特別委員會議事速記第一號

委員氏名

委員長 伯實廣澤金次郎君

副委員長 菊池 武夫君

委員

子爵本莊 壽巨君

男爵長松 篤斐君

馬屋原 彰君

富井 政章君

野崎 啓造君

石渡 敏一君

高木 豐三君

明治四十一年三月二十日(金曜日)午前十時三十一分開會

○委員長(伯實廣澤金次郎君) 是ヨリ開會イタシマス、例ニ依リマシテ政府委員ヨリ大體ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(河村讓三郎君) 本案ノ内容ニ付キマシテハ委シク主任ノ政府委員ヨリ申述ベマスガ、其前ニ本案ニ依ッテ公證ノ法規ヲ改正イタシマスコトガ目下急務デアルト認メマシタル事情ヲ一應御參考ニ供シタイト思ヒマス、數年來世人ガ追々公證ノ必要ヲ感ジテ參リマス爲ニ、公證事務ハ大ニ發達イタシテ參リマシテデアリマス、其事務ノ發達シマスルニ從ッテ、自然ニ亦弊害モ生ジマシテ、互ニ多數ノ囑託者ヲ引付ケタイト云フ所カラシテ、競争ノ弊ヲ醸シ種々ノ手段ヲ以テ依頼者ヲ引付ケルト云フコトニ至リマシテ、自然ニ公證人ノ品位ヲ失墜スルヤウナコトガ多クアリマス、之ヲ矯正イタシマセヌデハ遂ニ憂フベキコトニ相成リマセウカト思ヒマス、其コトハ監督者ニ於キマシテモ 既ニ心配イタシテ居リマスシ、又公證人自身モ歎息イタシテ居リマシテ、監督者ハ法規ノ許ス限リ種々取締ヲ設ケ、公證人間ニ於キマシテモ互ニ申合ナドヲ致シテ弊害ヲ矯正シタイト申シテ居ルノデアリマスケレドモ、奈何セム此弊ヲ悉ク濟フコトハ出來マセヌ、是ハ畢竟現行法規ニ依リマシテハ、是等ノコトニ對シテ十分制裁ヲ加ヘルコトガ出來ナイ、是等ニ對スル十分ノ制裁ヲ設ケ懲戒等ノ規定ヲ設ケマシテ取締ヲ嚴重ニ致スト云フコトハ今日最モ必要ナルコトデアアル之ニ依ッテ公證人ノ品位ヲ維持シ社會ノ信用ヲ繋グト云フコトニ致サヌケレバ、將來益々憂フベキ弊害ヲ見ルデアラウト云フコトヲ感ジマシテ、屢々監督官ノ方カラ申出デテ居リマスシ、公證人ノ間ヨリモ當局者ニ對シテ切ニ希望ヲ申述ベテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、斯ノ如キ改正案ヲ出シマスコトハ今日最モ必要デアリマス、其他此現行法規ニ依リマス、公正證書ヲ作ルト云フコトガ公證人ノ職務ニナッテ居リマスケレドモ、尙ホ其他ニ私署證書ニ認證ヲ與ヘルト云フヤウナコトモ最モ必要ナルコトデアリマス、殊ニ外國ノ裁判所等ニ訴訟ヲ爲シ或ハ申請ヲ致シマス際ニ私署證書ニ認證ヲ附スト云フヤウナコトガ必要デアリマスケレドモ、此認證ヲ與ヘル機關ガナイ爲ニ大ニ困難ヲ感ズルト云フヤウナコトモ 往々アリマスノデアリマスカラ、認證ノコトヲ公證人ノ職務ノ中ニ加ヘルト云フヤウナコトガ今日大ニ必要ニナッテ參ッタデアリマス、テ本案ハ是等ノ點ヲ相當ニ修正ヲ致シマスノデアリマシテ、先ヅ是ナラバ目下ノ必要ニ十分應ズルコトガ出來ルデアラウト云フ考デアリマス、此案ハ數年以前ヨリ必要ヲ認メマシテ、或ハ委員ヲ設ケマシテ十分ニ調査ヲ致シマシテ、既ニ昨年ノ議會ニ提出セムトスル運ビ

ニナッテ居リマシタガ、公證人ノ方ヨリ希望ガアリマシテ、我々當事者ノ方ヨリモ十分ニ意見ヲ徵セラレテ之ヲ斟酌シテ尙ホ御審議ヲ願ヒタイト云フコトヲ申出デマシタ爲ニ昨年ハ提出ヲ致スコトガ出來ナカッタデアリマス、其後屢々公證人代表者等ト會見ヲ致シ、當業者ノ意見モ聽キマシテ、採ルベキ所ハ採用ヲ致シ、鄭重ニ討議ヲ盡シマシタ上デ、修正ヲ加ヘテ先ヅ完全ナルモノト認メマシテ提出イタシタ次第デアリマス、ドウゾ十分ニ御審議ヲ願ヒマス

○委員長(伯實廣澤金次郎君) モウ御説明ニナルコトハアリマセヌカ、ソレナラ大體ニ就イテ隨意御質問ニナリマスヤウ……

○菊池武夫君 唯今ノ御説明ヲ承リマス、公證人ノ人チカラシテ意見ヲ述ベタカノヤウニ承リマシタガ、ドウ云フコトヲ申出デタノデアリマスカ、ドウカ委シクナクトモ宜シウゴザイマスカラ、重モノ件ヲ承リタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御答ヲ致シマス、公證人ノ側カラ意見ヲ申立テマシタ廉々ハ誠ニ多ウゴザイマシテ、ソレヲ逐一申上ケルコトハ誠ニ長クナリマスルノデアリマス

○菊池武夫君 重モナル點ダケデ宜シウゴザイマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 最モ重モナル點ダケヲ申上ゲマス、公證人ノ意見ノ根本ノ趣意トナッテ居リマスルノハ公證人ノ地位ヲ判事檢察事務士ト同一ノ程度マデニ高メテ貫ヒタイ、隨ッテ公證人ト云フ名ハ誠ニ良クナイカラ公證士トシテ貫ヒタイト云フコト、ソレカラ任命ノコトニ付キマシテモ 判事檢察事ト同様ニシテ貫ヒタイ、身分ノ保障ニ付イテモ判事檢察事ト同ジヤウニシテ貫ヒタイ懲戒ノ手續モ判事ト同ジヤウニ懲戒裁判所デヤッテ貫ヒタイ、其他種々ゴザイマスルガ身分ヲ高メルト云フコトニ付キマシテハ大體サウ云フ趣意デゴザイマス、次ニ證書ノ作成ニ付キマシテモ 政府案ハ誠ニ手續上窮屈デアッテ、實際ニ當リマシテ便宜ヲ缺ク所ガアリハシナイカラ、成ルベク公證人ヲ信用シテ手續ヲ簡單ニシテクレヌトイカヌ、決シテ不都合ノナイ様ニ致スト云フ様ニ趣意カラ致シテ原案ノ中デ最モ重モナル點ト認メテ居リマシタ第三十二條ノ規定、第三十二條ノ第二項ノ規定デゴザイマス、囑託人ガ代理人ヲ以チマシテ囑託ヲ致ス場合ニ委任狀ヲ出スコトハ勿論デゴザイマスガ、其委任狀ガ認證ヲ受ケテ居ラヌ私署證書デアルトキニハ役場ノ印鑑證明書ヲ提出サセマシテ、サウシテ私署證書ノ印鑑ト役場ノ證明トヲ對照サセマシテ其私署證書ノ真正ト云フコトヲ證明サセルト云フノガ原案ノ趣意デゴザイマシタノゾ、ソレハ止メテ貫ヒタイト斯ウ申ス意見デゴザイマシタ、併シ此點ハ最モ弊害ノ多イ點デアリマスカラ、其點ニ向ヒマシテ之ヲ救済スルニハ是非斯ウナケレバナラヌト云フ確信デ政府ハ提出イタスコトニ致シタ次第デアリマス

○子爵本莊壽巨君 三十二條ノ二項デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 先刻第三十二條ノ第二項ト申シマシタノハ衆議院ノ修正ノ方デゴザイマシテ、原案ノ第三十一條デゴザイマス、ソレカラ衆議院ニ於キマシテ修正ヲ致シマシタ重モナル點ハ四ツデゴザイマスガ、是ハ元來公證人ノ意見ニ基ク修正ト思

ヒマスガ、公證人ノ側ニ於キマシテモ矢張り斯様ナ修正ノ趣意ハ主張イタシマシタノデゴザイマス、其事ヲ申述ベル方ガ便宜デアラウト考ヘマス、即チ第一ノ點ハ第二十八條ノ二項ノ修正デゴザイマス、原案ノ趣意ハ公證人ガ證書ヲ作りマシタル場合ニハ囑託人ヲ知テ居ルト云フコトガ必要ナル、若シ囑託人ノ何人デアアルカヲ知ラヌ場合ニハ印鑑證明書ヲ出サセテ、サウシテ囑託人ノ持テ來タ印鑑ト同一ノ場合ニハ人違ヒハナイト云フコトヲ證明シタモノト見テ其依頼ニ應ジテモ宜イト云フ趣意デゴザイマシタノヲ、是ニハ誠ニ困ル場合ガ生ズル、實際上困ル場合ガ生ズル、ソレ故ニ此點ハ現行法ト通りニ證明書ヲ提出イタシテ證明ヲスル方法ノ外ニ證人ヲ引連レテ參ッテ其證人ニ證明ヲサセルト云フ方法ヲ取テ貴ヒタイ、是ハ公證人ガ希望シテ居ルヲ希望ノ一ツデゴザイマシタ、其必要ナル此修正ニ同意ヲ致シマシタ理由等ニ付キマシテハ尙ホ其條ノ御質問ノ場合ニ御答ヲ致シマス、第二ノ原案ノ第二十三條ニ於キマシテハ公證人ガ證書ヲ作成スルニハ立會人ヲ立會ハセルコトヲ要スト云フコトニテ居リマシテ、是ハ現行法ト全ク同一デアリマス、少シモ違テ居ラナカッタノデゴザイマスガ、此手續ハ實際ノ有様ニ依リマスルト全ク行ハレテ居ラナイデアアル、調ハユル常雇ノ立會人ヲシテ立會ハシメルノガナカク、多イ模様デゴザイマシテ、此立會人ノ制度ハ有名無實デアアルカラ之ヲ制限イタシテ囑託人ガ盲目デアアル場合、又ハ字ヲ讀ムコトノ出來ナイ場合ニ立會人ヲ立會ハセル様ニシテ貴ヒタイト云フ、斯ウ云フ希望ヲ持ッテ居ルヲデアリマス、尤モ始メノ希望ハ立會人全廢ノ希望デゴザイマシタガ、段々當局ニ於テモ能ク説明ヲ致シタ結果、盲目ノ場合若クハ文字ヲ解セナイ場合ニ必要デアアルト云フコトヲ認メマシタ、結局此點モ重モナ希望ノ一ツトナッテ居リマシタ次第デアリマス、ソレカラ次ガ第四十二條ガ修正ニナッテ居リマスノデゴザイマスガ、是モ公證人ノ希望ガゴザイマシテ、原案ノ趣意ハ公證人ノ保存シテ居リマスル證書ガ滅失イタシマシタトキハ官吏ノ立會テ更ニ原本ヲ作成セシムルト云フ主義ヲ採ッタルデゴザイマスガ、ソレハ實際上困ル、例ヘバ公證人ノ書類ヲ保存スル倉ガ火災ノ爲ニ全部焼失スル場合ニハ一万余以上モアル證書ノ原本ヲ更ニ作成スルト云フコトニ相成ルト、凡ソ二十年グラ非掛カルデアアルト云フ話デアリマシテ……或ハソレホド掛ラナイカモ知ラヌガ、兎モ角モ餘程ノ手數デアアルニ相違ナイ、ソレハ是モ公證人ノ希望ハ尤モノ點ガアルト認メマシタノデゴザイマス、ソレカラ第四ガ六十二條ノ修正デアゴザイマス、公證人ガ病氣其他已ムコトヲ得ナイ理由デ職務ヲ行フコトガ出來ナイ場合ニハ、他ノ公證人ニ代理ヲ囑託スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、他ノ公證人ト申スノハ、病氣其他事故ノ爲ニ職務ヲ行フコトガ出來ナイノデ、同一區裁判所ノ管轄區域ノ公證人テナケレバナラス、斯ウ云フ主義デアリマシタ所ガ、是ハ主トシテ地方ノ公證人ノ希望デゴザイマスガ、區裁判所ノ管轄區域内ニ一人シカ公證人ガ居ラヌ所ガ非常ニ多イ、ソレサウ云フ地方ニアリマシテハ、此案ノ通りニ致シマス、代理ヲ囑託スルコトガ出來ナイト云フコトニナルデアアル、ソレハ困ルカラ隣區ノ區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ囑託スルコトガ出來ルヤウニシテ貴ヒタイト云フ希望デアリマス、六十二條ト同シヤウナ希望デ……六十四條モ六十七條モ同様、是等ガ重モナル希望デゴザイマシテ、テ、唯今説明イタシマシタ四點ダケハ政府デモ尤モナ點ガアルト認メマシテ同意ヲ致シテ居リマスル次第デアリマス、其外衆議院ニ於キマシテ種々修正ニナッテ居

リマスガ、唯今申述ベマシタ四點ガ重モナル修正デアリマシテ、其外三點バカリ些細ナコトガゴザイマス、或ハ此疑點ヲ明ニスル點ヤ、極些細ノ手續ヲ省略スルヤウナ點ニ關シテ居ルノデゴザイマス、其他ノ修正ハ條數トシテハ澤山ゴザイマスガ、皆右申上ゲタ修正ノ結果ニ過ギマセヌノデゴザイマス、此段御答ヘ致シマス

○菊池武夫君 先刻、司法次官カラ大體ノ御説明ガアリマシタガ、此箇條ニ付キマシテ現行法ト違ッテ重モナル點ヲ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 本案ノ規定中、現行法ノ規定ト違ヒマシタ重モナル點ヲ申述ベマス、第一ノ點ハ先キホド司法次官ヨリ述ベラレマシタ通り、公證人ノ權限ヲ擴張イタシマシタ點デゴザイマス、現行法ニ依リマスルト、公證人ハ唯證書ヲ作成スルダケノ權限ヲ持ッテ居ルノニ過ギヌノデゴザイマス、チヨット申上ゲテ置キマスガ、現行法ト申スノハ、現行ノ公證人規則ダケヲ申スノデゴザイマシテ、他ノ商法、民法、非訟事件手續法、民法施行法、民事訴訟法等ニ公證人ノ特別ノ權限ハ規定シテゴザイマスガ、此中ニハ或ハ證書ノ作成以外ノモノモゴザイマス、私ノ申上ゲマスノハ、一般法タル公證人規則ノミニ付イテ申上ゲル次第デアリマスカラ、左様ニ御承知願ヒタイ、其公證人規則ニ依リマスルト、唯今申上ゲタ通りニ唯證書ヲ作成シマス點ガ公證人ノ權限トナッテ居リマスルガ、ソレヲ擴張イタシマシテ個人ノ作りマシタ私署證書ニ認證ヲ與ヘル權限ヲ認メマシタノデアリマス、其認證ノ方法ハ委シク法案ニ規定シテゴザイマス、又證書ノ作成ニ付キマシテモ、現行公證人規則ニ於キマシテハ、民事ニ關スル公正證書ヲ作ルヲ以テ職務トナスト云フコトガゴザイマシテ、此解釋ニ依リマスレバ、タゞ法律行為ノミニ付イテ證書ヲ作ルコトニナッテ居ルノデゴザイマス、法案ノ規定ハ其權限ヲ擴張イタシマシテ、證書ヲ作ル場合ニ於キマシテモ、法律行為ニアラザル事實ニ付イテモ、證書ヲ作成スルコトガ出來ルト云フコトニ致シタノデゴザイマス、是ハ通例申シマスル事實ノ證明ヲ爲スノ權限ヲ與ヘマシタ次第デアリマス、第二ノ點ハチヨット申上ゲマスガ、唯今第一ト申上ゲマシタノハ、案ノ第一條デゴザイマス、重モナル點ハ第一條デゴザイマス、公證人規則ノ第一條ニ規定シテゴザイマス、次ニ第二ノ點ハ、公證人ノ職務執行ノ區域ヲ擴張イタシマシタ點デゴザイマス、勿論公證人ノ職務執行區域ト申シマシテモ、公證人ニ囑託ヲ爲サウト致スモノハ何レノ土地カラ參リマシテモ宜シイ、此方ニハ少シモ制限ハゴザイマセヌノデアリマスガ、公證人ガ役場外ニ於テ職務ヲ執行シマス場合ハ受持區域ト云フモノガゴザイマシテ、其出張ノ區域ガ限ラレテ居ル次第デアリマス、現行公證人規則ニ依リマスレバ裁判所ノ管轄區域ヲ受持區域ト唱ヘマシテ即チ管轄區域ニナッテ居ル、此案ハ第十七條ニ於キマシテ之ヲ擴張致シテ地方裁判所ノ管轄區域ヲ職務執行ノ限リト致シマシタノデアリマス、是ガ第一點デアリマス、第二ハ證書ノ作成ノ手續ニ關スル件デゴザイマスルガ、現行公證人規則ノ解釋ト致シマシテハ未成年者ノ如キ、妻ノ如キ、準禁治產者ノ如キ無能力者デアリマシテモ、一個デ公證人ニ證書ヲ作成ヲ囑託スルコトガ出來ル、尤モ是ハ申スマデモナク民法ノ規定ノ結果デゴザイマスルノデス、ソコデ是等ノ無能力者ガ債務者トナリマシテ公正證書ヲ作りマス場合ニハ誠ニ危險千萬デアリマシテ、其公正證書ヲ直ニ執行ヲ受ケル、往々新聞ナドニモ出テ居リマスル此未成年者ガ後見人ナドノ知ラナイ場合ニイツカ公正證書ヲ作りマシテ先祖傳來ノ身代ノ上ニ強制執行ヲ

受ケルト云フ事實ガアリマス、サウ云フ危険ナル事實ハ成ルベク生ゼシメタクナイト云フ趣意カラ致シマシテ、是等ノ無能力者ガ證書ヲ作成セシメル場合ニハ必ズ此法定ノ代理人ノ同意ガ必要ナル、又ハ夫ノ許可ガ必要ナル、斯ウ云フ趣意ヲ認メマシテ自分一個デハ出案ナイト云フコトニ致シマシタノデアリマス、主トシテ此二十六條ノ中ニゴザイマス、無能力ニ因リテ取消スコトヲ得ヘキ法律行為ニ付證書ヲ作成スルコトヲ得ス」ソレカラ第三十二條ニ第三者ノ許可又ハ同意ヲ要スルト云フ趣意モ明カニシテゴザイマス、次ニ第四ノ點ト致シマシテ、是ハ先程モチヨット申述ベテ置キマシタスガ、代理人テ證書ヲ作テ貰フト云フ場合ニハ必ズ委任狀ヲ出サネバナラヌ、是ハ現行法ト少シモ異ナリマセヌ、現行法テハ其委任狀ガ公正證書デゴザイマシテモ、私署證書デゴザイマシテモ、委任狀ヲ出セバソレテ宜シイコトニナツテ居ル、公正證書ノ委任狀ヲ出シマスル場合ニハ本案ニ於キマシテモ他ノ手續ヲ要サナイコトニ致シマシタノデアリマスガ、私署證書ノ委任狀デゴザイマスルト、是ガ誠ニ危険デゴザイマス、詐欺ガ行ハレ從ツテ公正證書ノ信用ヲ害シ延ヒテ公證人ノ品位マデモ問題トナリマスル事實ハ往々此委任狀ノ偽造ト云フコトカラ起ルノデゴザイマス、ソレ故ニ此委任狀ハ成ルベク嚴重ニ之ヲ取締ル必要ガアリマスル點ヨリシテ委任狀ガ私署證書デゴザイマス場合ニハ必ズ印鑑ノ證明書ヲ出サシテ、サウシテ私署證書ノ印鑑ト對照シテ間違ノ無イト云フコトヲ認メタ場合テナケレバ證書ノ作成ハ出來ナイ、斯ウ云フコトニ致シタ次第デゴザイマス第五ノ點ハ現行法ニ於キマシテハ外國人ガ證書ノ作成ヲ囑託シマスル場合、又囑者啞者ナドガ證書ノ作成ヲ囑託シマスル場合ニ付イテモ手續ト云フモノガ缺ケテ居リマス、此手續ヲ補ヒマシテ必ズ通事ヲ立會ハシムルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレハ此案ノ二十九條ニ規定シテゴザイマス、ソレカラ次ニ第六ノ點ハ前ニモ申上ゲマシタヤウニ此私署證書ノ認證ニ關スル事柄ハ全ク新規ナ規定デゴザイマスカラ、第五章ニ於キマシテ認證ニ關スル手續ヲ新ニ設ケマシタノデゴザイマス、第五章ハ全ク新ナル規定デゴザイマス、第五十八條カラ六十二條マデデゴザイマス、ソレカラ第七ノ點ハ先キホド司法次官ノ述ベラレマシタ通りニ公證人ノ監督ヲ嚴ニ致シ且ツ其懲戒ノ實ヲ擧ゲタイト云フコトガ本案ノ大眼目ノ一デゴザイマス、ソレデ此監督懲戒ノ手續ニ付キマシテハ現行法ニ比ベマシテ餘ホド異ナツタ規定ヲ設ケテアリマス、且又現行法ハ大ニ不備デゴザイマスカラ委シク補ツテゴザイマス、是ハ種々ノ點ニ涉リマシテ異ナル點ガゴザイマスカラ此章ノ所マデ御質問ガ進ミマシタ場合ニ一々御答ヘ申上ゲルコトニ致シタイノデアリマス、ソレカラ第八ノ點ガ此公證人ノ居リマセヌ場所ニ於テ已ムヲ得ザル規定ト致シテ區裁判所ヲシテ公證人ヲ取扱ハシメマシテ人民ノ便宜ヲ圖ル、斯ウ云フ趣意ヲ第八條九條等ニ認メマシタ、是ハ全ク新規ナ規定デゴザイマス、尙ホ異ナル點ガ種々ゴザイマスルガ、重モナ點トシテ特ニ指摘シマス分ハ斯様相成ル次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○馬屋原彰君 大體ニ付イテ政府委員ニ質問ヲ致シマスルガ、即チ此法案ハ現行ノ公證人規則ノ全部ノ改正案デアリマスルガ、現行ノ他ノ諸法律ニ於テ公證人ニ關スル規定ハ多クアルヤウニ考ヘマスルガ、此法案デ自ラ他ノ諸法律ニ掲ゲテアル所ノ公證人ニ關スル規定ニマデ影響スル所ガアラウト思ヒマスルガ、其重モナルモノハドウ云フ點デアリマセウカ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御答ヲ致シマス、御承知ノ通りニ公證人規則ハ明治十九年ニ出來マシタモノデゴザイマシテ、新法典ハ其後ニ出來マシタ次第デアリマシテ、公證人規則ハ新法典ト相俟チマシテ公證人ノ權限、手續等ヲ規定スルモノト相成ツテ居ルノデゴザイマスルノデ、申上ゲルマデモナク此案ハ公證人規則ノ方ノ改正案デゴザイマシテ、他ノ民法、商法等ノ規定ニハ少シモ手ヲ附ケマセヌノデゴザイマス、其關係ハ丁度公證人規則ト民法、商法トノ關係ト同シヤウニ相成ル次第デゴザイマス、唯一ツ五十七條ガゴザイマス、五十七條ノ「公證人拒絕證書ヲ作成スル場合ニ之ヲ適用セス」斯様ゴザイマスルガ、是ハ商法施行法ノ百二十四條ニ書イテゴザイマスル、公證人規則ノ今ノ箇條ハ拒絕證書ヲ作成スル場合ニハ、適用セストゴザイマス、ソレヲ公證人規則ガ廢サル、ノデゴザイマスカラシテ特ニ此新法デ之ヲ保存スル必要ガアリマスルノデ、ソレヲ明カニ致シタケテデゴザイマス、其外少シモ關係ガゴザイマセヌ、唯此案ガ成立チマシタ上デハ公證人ノ規則ハ一般法ト相成ルノデゴザイマスカラ、他ノ法律ノ不備ナ場合ニ此一般法ノ補ヒノ規定ト相成ル場合ガ多クアラウト存ジマス

○馬屋原彰君 毛ウ一遍御尋ネテ致シタウゴザイマスルガ、此法案デ見マスルト云フト、手数料ノ規定ハ勅令ニ讓ツテアルヤウデアリマスガ、定メシ之ニ付キマシテハ政府ハ現行ノ手数料ト大ニ異ナル改正ヲセラルルデアラウカト察シラレマスガ、其手数料ハドウ云フ風ニ改正ニナル御積リデアリマセウカ、即今既ニ御成案デアレバ一應御示シテ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 御答ヘテ致シマス、手数料ニ付キマシテハ唯今マダ草案ハ出來テ居リマセヌ、是ハ何レ外國人等モ公正證書ノ作成ヲ囑託スル場合ガ多ク起ツテ參ラウト存ジマスルカラ、各國ノ規則等ヲ材料ト致シマシテ國情ニ適シマスル程度ニ於テ適當ノ法案ヲ立テ考テゴザイマス、唯今ハマダ出來テ居リマセヌ

○馬屋原彰君 ソレダケノ御説明デハ大凡金額ノ高ハ分リマセヌガ、詰リ外國人ノ爲ニノミナラズ内外人ノ爲ニモ矢張り高クスルト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 幾分高クシタイ考ヲ持ツテ居リマス

○馬屋原彰君 ソレハ内外人ノ區別ナク平等ニテスナ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ハ外國人デゴザイマスルト通辯等モ必要ト存ジマスルカラ、其場合ハ或ハ區別スル必要ガアラウカトモ思ヒマスルガ、マア免ニ角、内國人ニ對シマシテモ少シハ高クセネバナラナイト思ヒマス

○石渡敏一君 先刻御話ニナリマシタ公證人ノ希望ノ中ニ身分ヲ高ムルト云フコトノ御話ガゴザイマシタガ、公證人ノ希望トスル身分ヲ高ムルト云フノハドウ云フコトヲ重モニ指スノデゴザイマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 結局ハ判事、檢事、辯護士ト云フモノト同ジ程度ノ身分ニナリタイト云フノデゴザイマシテ、或ハ試験ナドモ同一ノ資格ニシテ貰ヒタイト云フコトモアリマシタ、ソレカラ地位ノ保障モ判事ト同ジニ貰ヒタイ、懲戒裁判ノ裁判ニ依ツテ懲戒裁判ヲ受ケタイ、ソレカラ任命モ大權ニ依ツテ任命シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナコトデゴザイマス

○菊池武夫君 先刻、司法次官カラノ御説明ニ依ツテ見マスルト、現行ノ公證人規則

ハ民法、商法ナドノ各發布ニ依リマシテ影響ヲ受ケテ改正ニナルト云フコトデアリマシタガ、規定ニ付イテ見マスルトドウ云フ所ガ他ノ法典若クハ法律ノ影響ニ依ッテ改正サレタノデアリマスカ、重モナル所ダケデ宜シウゴザイマスガ、若シアルナラバ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 大體ニ於テ民法商法等、新法典ヲゴザイマシテ、十九年ニ出來マシタ公證人規則トハ文字ノ用例其他極細細ナ關係ニ付キマシテ兎角調和イタサヌノデアリマシテ、申サバ曲リナリニ適用シテ居ルト云フノガ實際ノ有様デアラウト思フノデアリマス、其コトヲ意味ニ於テ申上ゲタ次第デアリマス

○石渡敏一君 サウ致シマスト今ノハ約メテ言ヒマスト現行ノ公證人規則ハ他ノ民法商法ナドトハ文字ノ用例ナドモ、ドウモ合ハヌト云フノガ一ツ、其他ノ方デハ公證人ノ權限モ廣メ、又公證人ノ職務ノ權限モ廣メ、之ガ取締ヲ設ケル必要ガアル、斯ウ云フ風ナ改正ノ趣意ト見テ宜シウゴザイマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス、サウシテ尙ホ此缺點ヲ補フト云フ點ヲ加ヘマス

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 先キホド御話デゴザイマシタガ、衆議院ノ修正ト云フノハ全部公證人ノ希望ヲ入レタト云フコトニ承リマシタガ、左様承知イタシテ宜シウゴザイマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 實ハ公證人ノ希望ハ此修正以上デゴザイマス、デゴザイマスガ、當局ニ於キマシテ段々研究イタシマシタ結果、其修正グラ非ノ程度ニ置イテ讓歩スルコトハ實際差支ナイト認メマシテ、其程度ニ於テ修正ト同意ヲ致シタ次第デアリマス

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 公證人ノ資格ハ比較シテ見ルト改正サレタ所ハナイヤウデアリマスガ、衆議院ノ速記録ヲ見ルト現在公證人ハ本法ニ於テ之ヲ認メル云々トアリマスカラ、何カ資格デモ變テタカト思ハレマスガ、比較シテ見ルト別ニ變リハ無イヤウデアリマスガ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 現在公證人トシテ職務ヲ執ッテ居リマス者ハ成ルベク……ソレマデモ廢メサスト云フノハ酷デアリマスカラ其儘ニ置キタイ、或ハ試験ヲサセル必要ガアルカト云フ考モナイデハゴザイマセヌガ、ソレモ餘リヒドカラウ裁判所構成法改正ノトキモ辯護士法改正ノトキモ修習スル手續モ取ラナカッタノデアリマスカラ、公證人ニ限ッテ酷ニ當ルヤウナ手續ニモ及ブマイト云フ考デ、現在ノ公證人ハ其儘職務ヲ執ラセルト云フコトニ致シマシタノデアリマスカ、其第十二條ニ於キマシテ「試験及實地修習ニ關スル規程ハ司法大臣之ヲ定ム」トゴザイマシテ、試験ト實地修習ヲサスコトニナリマシタ、此試験ハ現在ノ程度ヨリ高メル積リデアリマス、尙ホ實地修習ト云フ制度ハ新ニ附加ヘマシタ制度デアリマス、又十四條ハ公證人ニ任ゼラレルコトノ出來ナイ資格デアリマス、是ハ餘ホド範圍ヲ廣メマシテ結局、公證人ニ任ゼラレル者ノ資格ヲ餘ホド制限シタ積リデアリマス

○石渡敏一君 是ハ各條ニ這入ッテカラ質問シテモ差支ナイ問題デアアルノデアリマスガ、ツヒ茲ノ所ガ問題ニナリマシタカラ御開申シテ置キマスガ、公證人ハ矢張り公吏トカ官吏ト見ルト云フノデアリマスカ、是ハ單ニ監督スルト云フダケノモノデゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 此案ノ主義ト致シマシテ公吏ト見テ居リマスノデゴザイマス

○石渡敏一君 何かソレヲ見ラレル所ガアルノデゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 公吏トスルト云フ明文ハ無論ゴザイマセズ、此文字ノ解釋カラ直ニ公吏ト見ラレルト云フコトニ「聽取シ難シ」ト存シマス、司法大臣ガ任命スルト云フ點、ソレカラ監督ガ司法大臣ニアルト云フ點、此事務ガ即チ國ノ事務デアッテ私ノ事務ト云フモノデナイト云フヤウナ點カラ綜合イタシマシテ官吏カ公吏デアルト云フコトノ説明ハ付カウト思ヒマス、而シテ官吏デナイトハ明カデゴザイマスカラ、公吏ト云フモノデアルト云フ解釋ハ付クデアラウト認メテ居ルノデゴザイマス

○石渡敏一君 其公吏ト云ヒマスノハ辯護士ヲ公吏スルト云フヤウナ意味ナノデアリマスカ、或ハ公吏ト云フデモ市町村吏員ト同シヤウニ御覽ニナリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此新刑法ガ行ハレマスレバ組合ノ中ニ總テ這入ルノデ、其點カラ申シマスト辯護士ト同シデアラウト思ヒマスガ、辯護士トハ取扱ヒマスル事務ノ性質ガ違フト認メテ居リマス、ソレデ矢張り自治體ノ吏員トモ大ニ違ヒマス點モゴザイマスルガ、先ツ官吏デナクシテ、サウシテ國ノ事務ヲ行ッテ居ル、其點ガ或ハ市町村ノ吏員ト同様ニ見テ置ク方ガ穩當デアラウト思ヒマス

○石渡敏一君 私ノ質問ノ根據ハ十二條ノ「帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト」ト云フノハ從來ハ無カッタノデス、從來ハ帝國臣民ト云フコトモ男子ト云フコトモ無カッタノデスガ、是ダケノ改正ヲナスッタノハ其公務ト云フ方カラ來タノデアリマスカ、或ハ何か別ニ意味ガアルノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 結局ハ此文字ハサウ云フ意味デ用井マシタノデハゴザイマセヌ、是ハハタシカ辯護士モ斯様ニナッテ居ルト見テ居リマス、「帝國臣民」ト云フ字ヲ用井タノハ公務上用井タト云フコトニハナラヌノデゴザイマスルガ、外國人ヲ公證人トスルトハ認メナイト云フ趣意カラ帝國臣民ト書キマシタノデゴザイマス

○石渡敏一君 判事ハ此「帝國臣民」ト云フコトハ無カッタヤウデスナ、男子ト云フコトモ、タシカ無カッタヤウニ思フノデスガ……

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ判檢事ノ試験規則デ決メデアリマス

○石渡敏一君 私ノ言ヲハ構成法ノ上ニ於テデス

○委員長(齋藤十一郎君) 構成法ハ試験ノコトハ司法大臣ニ委任シテデアリマスカラ、ソレデ決マッテ居リマス

○石渡敏一君 身分ノ方デス、試験規則デナクシテ帝國臣民ニシテ男子タル者ト言ヘバ資格デアリマス、ソレハアトデモ宜シウゴザイマスガ、矢張り國ノ事務カラ見タ方デナクシテ立ッテアルノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 第十二條ノ「帝國臣民」云々ト云フノハ其方カラ見タノデハゴザイマセヌ

○馬屋原彰君 衆議院ノ修正ニ政府ニ於キマシテモ同意ヲサレタコトデアラウト思ヒマスルガ、此立會人ト云フコトデアリマスルガ、原案デ見ルト云フト、ドウシテモ公證人ガ證書ヲ作成スルニハ立會人ヲ必要トスルト云フコトハ原則ニナッタヤウデアリマス、今度衆議院ノ

方デ見ルト詰リ極範圍ヲ狹メテ盲トカ文字ヲ解セザル者ト云フヤウナ場合ニ限ルト斯
ウ云フコトニテ居ルヤウデアリマスガ、サウスルト原案トハ餘ホド範圍ガ狹クナッテ居ル、
之ニ付イテ實際差支ハナイモノデアリマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 實ハ政府ニ於キマシテモ此案ヲ起草シマスルトキニ當
リマシテ兩様ノ説ガゴザイマシタノデ、原案ノヤウナ説トウレカラ立會人ハ盲及文字ヲ解
セナイ場合ニ限ルヤウニシタイト云フ説ガ二ツゴザイマシタ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテハ如
何カト存シマスルケレドモ、シカモ外國ノ立法ナドハ立會人ナドト云フ制度ハ段々無ク
ナッテ參ル傾キニナッテ居リマス、ソレデ元ハ矢張り原案ノヤウナ趣意デゴザイマシタノガ、
近來ハ盲トカ文字ヲ解セナイ場合ニ限ルト云フコトニ新シイ立法例ニ於テハ認メラレマ
シタノデ、ソレデ此ニツニ説ガ分レマシタガ、然ルニ日本ノ方デハ現行法ノ如ク總テノ
場合ニ立會人ヲ認メルノガ宜カラウト云フコトデ此原案ガ出來マシタ、所ガ其後實際ノ
有様ヲ調ベテ見マスト今日ノ所ニ於テ立會人ノ制度ハ有名無實デアリマシテ、謂ハユ
ル公證人ノ定備ヒシタヤウナモノデアリマシテ、必ズソレヲ用井テ立會人トシテ證書ヲ作
成スルト云フコトニ致シテ居ル、是ハ甚ダ不都合ナコトニハ相違アリマセウガ、ドウモ斯
ウナリ勝子ノ制度デゴザイマスルカラ、此原案ニ於テ現行法ノ通りニ規定イタシマシタ
所デ矢張り結果ハ同様ナコトニ相成リマスルト、又其今ノヤウナ弊害ガ起ル虞ガゴザ
イマス、ソレデ場合ヲ制限シマシテモ其制限シタ場合ニ於テ嚴重ニ取締ル方ガ宜カラウ
ト云フコトカラ修正案ニ同意ヲ致シタ次第デアリマス

○馬屋原彰君 モウ一ツ伺ヒマスガ、是ハ衆議院ノ修正デゴザイマスガ、少シ茲ニ意味
ガ分リ惡クウゴザイマス、第三十條ノ場合デゴザイマス「前項ノ規定ハ囑託人立會人ヲ
立會ハシムルコトヲ請求シタル場合ニ之ヲ準用ス」トゴザイマスガ、前項ト云フノハ即チ衆
議院ノ修正ノ此三十條ノ第一項ヲ言フノデゴザイマスガ

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス
○馬屋原彰君 サウスルト盲デアラウガ文字ヲ解セヌ者デアラウガ請求シタ場合ニ限
ルノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デハゴザイマセウ、盲デアル場合、文字ヲ解セナイ
場合ニハ必ズ立會ハセナケレバナラス、尙ホ其上ニ囑託人ガ是非此人ヲ立會ハセテ證書
ヲ作成シタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル場合ガ多クゴザイマス、左様ナ場合ニ是非此人ヲ
立會人トシテ立會ハシメタイト云フコトヲ請求スル場合ガゴザイマス、其場合ニハ許シテ差
支ゴザイマセウ

○馬屋原彰君 ソレハ盲デナクテモ

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス
○馬屋原彰君 ソレデ分リマシタ

○菊池武夫君 現行法ノ下ニ於キマシテ公證人ガ職務ヲ執行スルニ付イテ種々ノ弊
害ガ生シタルコトヲ政府ニ於テ認メラレタト云フコトデアッテ、ソレニ對シテ救済ノ法トシテ
此本法ノ改正案ヲ出サレタト云フコトデアリマシタガ、其弊害ト御認メニナツタ重モナル
廉及其救済法トシテ作ラレタ所ノ規定ト對照シテ一應御話ヲ願ヒタイ
○委員長(伯爵廣澤金次郎君) ドウデセウカ、大體ノ御質問ガ無ケレバ逐條ニ移ッテ

行ッテ方ガ進行上都合ガ宜イカト思ヒマスガ、併ナガラモウ時刻デスガ如何デセウカ、今
日ハ午後引續イテ開會ト云フコトハ皆サン御差支ト考ヘマスガ、モウ少シヤリマセウカ、
今日ハ是デ濟マセテ……

○馬屋原彰君 今日ハ是デ措イタラドウデスカ

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) ソレデハ是デ散會シテ此次ニ一日勉強スルコトニシ
マセウ、此次ハ二十三日デナケレバ出來マイト思ヒマス、二十三日モ午前ハ議院ノ方ガ
部屋ガ差支ガアリマスカラ午後デナケレバ行クマイト思ヒマス、二十三日ノ午後一時カラ
ヤリマスカラ御勉強ナスデ御出席ヲ願ヒマス、今日ハ散會イタシマス
午前十一時五十分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵廣澤金次郎君

委員

子爵本莊 壽巨君 男爵長松 篤乘君

石渡 敏一君 菊池 武夫君

政府委員

司法次官 河村讓三郎君

司法省參事 齋藤十一郎君

官兼檢事 齋藤十一郎君

檢事兼司法 橫田 五郎君

省參事官 橫田 五郎君

馬屋原 彰君

小山 温君

入江 良之君

檢事兼司法 省監獄局長 官兼檢事

明治四十一年三月二十一日印刷

明治四十一年三月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局